

学校長あいさつ



海上自衛隊第1術科学校長の小杉です。

平素より、本校の教育に対します御理解と御支援に深く感謝と御礼を申し上げます。

また、本年1月17日に本校（長浜射撃場）から発生いたしました山林火災におきまして地元の皆様をはじめ、関係者の方々に大変御迷惑と御心配をおかけいたしましたこと改めまして深くお詫び申し上げます。し

っかりと原因究明を実施し、再発防止に万全を尽くす所存でございますので、今後とも変わらぬ御指導を宜しくお願い致します。

さて、ここ江田島の学校地区は、137年前の明治21年に海軍兵学校が東京築地から移転して以来、海軍の良き伝統を継承しており、現在も海上自衛隊の教育のメッカとして、毎年、約3000名の学生を部隊に送り出しております。今年は戦後80年、昭和100年という節目の年でもありますので、本校の教育参考館におきまして、6月から特別展示を実施する予定です。今は構内にありますつつじの花も綺麗に咲き誇っており、これから夏、秋と四季折々の花と緑が構内に屹立する明治、大正、昭和、平成、令和に建立されたそれぞれの威風堂々たる建造物とのコラボレーションを奏でて参りますので、校内見学も兼ねて気軽にお運び頂ければ幸いです。

そして、本日5月16日は69年前の昭和31年に、本校の前身であります海上自衛隊術科学校の開庁披露式（右写真）がここ江田島で海上自衛隊発足以来、最大の規模で挙行された記念日であります。江田島の人々と自然は海軍時代から引き続き海上自衛官も温かく迎えてくださり、皆様へ



の感謝の気持ちは言葉では尽くせないものがあります。わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさと不確実性を増しており、海上自衛隊を支える人材育成の重要性はますます増加しております。その教育の中核たる本校において、教官職員一同、より精強で、より誠実な隊員を育成し部隊へ送り出すという崇高な使命を完遂するため、「随所作主」を旗印に各配置で全力を尽くし、皆様への安全安心を通じて恩返しをして参りますので、引き続きの御支援、御協力を宜しくお願い申し上げます。

令和7年5月16日

第50代 海上自衛隊第1術科学校長

海将補 小杉 正博